



ID: 1124

科目名	英語Ⅱ【26年度生用】			コード			
英語表記	EnglishⅡ						
担当教員名	福原 慶尚			年度	平成26年度		
基準年次	1年次	開講期	後期		単位数		
授業形態	演習	授業形式			履修形態		
授業概要							
授業の前半は、聴く・読む(理解活動)を、後半では、話す・書く(表現活動)が中心。「理解活動」では、受講者は、テキストの割り当てられた範囲を音読・読解し、その後、相互に意見を発表する。「表現活動」では、会話文に合わせてセットされた模擬店などで、実物を使い、スイッチバック方式で行う。							
到達目標							
「理解活動」では、(原書の)読解力のガイドラインを500点(TOEIC スコア)、「表現活動」では、下の6つのトピックを完全に暗記することを目指す。							
授業計画							
第1回	K. Mansfield, A CUP OF TEA	① Shopping					
第2回	作品と時代背景	② (Back to ①)					
第3回	女性の「知」とは?	③ Buying a T-shirt					
第4回	女性の「愛」とは?	④ (Back to ① ③)					
第5回	「愛と美」の本質	⑤ Quiz					
第6回	Saki, DUSK	⑥ At A Fast-Food Restaurant					
第7回	Duskは、'敗北者'の時間 ?	⑦ (Back to ① ③ ⑥)					
第8回	歓楽街は、'勝者'の空間 ?	⑧ Going to an Internist					
第9回	'落ち'、そして、'どんでん返し'	⑨ (Back to ① ③ ⑥ ⑧)					
第10回	'失敗'という名の教訓	⑩ Quiz					
第11回	R. F. Scott, THE LAST EXPEDITION	⑪ Having a Cold					
第12回	南極点到達	⑫ (Back to ① ③ ⑥ ⑧ ⑪)					
第13回	帰路、猛吹雪	⑬ Shot?					
第14回	空腹 そして、凍傷	⑭ (Back to ① ③ ⑥ ⑧ ⑪ ⑬)					
第15回	基地目前、全員凍死	⑮ Quiz					
評価方法と基準			評価項目と割合(%)				
第16回目に、定期試験を行う。			出席	授業態度	レポート	期末試験	その他
				50%		50%	
授業外学習			テキスト、教材				
上記①③⑥⑧⑪⑬のスキットは、予習段階で完全に暗記しておくこと。			テキストは、プリント教材を使う。				
参考書			受講生へのメッセージ				
David Hamilton, SPEAKING OF SPEECH, Macmillan, 1999.			毎回、全員が何らかの形で発表。 Speak out !				
キーワード							
Basic, Authentic, Realistic							